

国際交流 ほどがや



NPO法人
保土ヶ谷国際交流の会

〒240-0004 横浜市保土ヶ谷区岩間町 1-7-15 横浜市岩間市民プラザ1階
Iwama Shimin Plaza 1F, 1-7-15 Iwama-cho, Hodogaya-ku, Yokohama, 240-0004
Tel: 045-337-0012 Fax: 045-337-0013 E-mail: toiwase@hodogaya-kokusai.com
http://www.hodogaya-kokusai.com

2011年 夏 第55号

当会は区の委託を受け「保土ヶ谷区国際交流コーナー」として国際交流事業を運営しています

【子供の勉強会】

毎週 土曜日
10:00 ~ 12:00

「友達作りたくない」「日本語や勉強を教えて！」
たくさんのサポーターさんが待っています。



【外国人母親交流会】

毎月2回 火曜日(主に第2,第4)
10:30 ~ 11:30

子供を持つ外国のお母さんたちが
情報交換や交流をする場です。



【ハローギャザリング】

毎月1回 第3土曜日
15:00 ~ 16:30

外国人が横浜での慣れない生活、懐かしい母国のことを日本人をまじえ話し合ったり、色々な話題で盛り上がっています。
これがご縁で友達が出来た方も沢山います。5月は会場に“鯉のぼり”を飾って大空に向かって泳いでいる鯉の意味について学びました。



来てみよう 参加しよう

外国の方へさまざまなサポートや
国際交流イベントを企画しています。

【異文化理解講座】

あなたの知らないイタリア【募集終了】
日 時：6月26日(日)
10:30 ~ 11:30
場 所：岩間市民プラザ 3F
紅茶とお菓子付

【食の国際交流】

中国ウイグル料理
日 時：10月2日(日)
10:00 ~ 13:00
場 所：ほどがや地区センター料理室
費用：1,000円(前払い)
持ち物：エプロン、三角巾、食器拭き布巾
定 員：20人程度

【日本文化紹介】 浴衣を着よう

日 時：7月9日(土) 14:30 ~ 16:00
場 所：岩間市民プラザ 3F和室
参加費：外国人 無料 日本人 500円
申 込：電話・メールのみ

参加者募集中



ナポリ出身 ディオダードさん
イタリア語特有の言い回し・
ジェスチャーを語ってまいります。



本年度第2回目の食の国際交流の企画。
ウイグル出身 マリアさん、
とっておきの料理です。



浴衣をお持ちでない方も着付け体験が
できます。
浴衣をお持ちで、そのまま外出される
方は下駄をご持参ください。

●東日本大震災義援金寄付のご報告

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当会では3月下旬より募金箱を設置してまいりましたが、ボランティアの皆さん、外国語講座の受講生の皆さんをはじめ多くの方々からご寄付をいただきました。当会からの寄付金と併せて144,624円を5月17日「横浜市東北地方太平洋沖地震義援金口座」に振込みました。皆様のご協力を厚くお礼申し上げます。

●INPO法人 保土ヶ谷国際交流の会 第3回通常総会決議ご報告

5月22日(日)午前10時から岩間市民プラザ3階会議室において第3回通常総会を開催しました。
議案の平成22年度活動報告並びに決算報告、23年度活動方針案並びに予算案および23年度役員選任の件は、原案通り承認されました。終了後、30分間懇談のひと時を過ごしました。

新役員：理 事 長—森田英雄

副理事長—杉本ひろみ、猿木弘一、金屋卓志

理 事—山口弘子、蜂谷晴彦、藤川千容、村田典政(新任)、田上薫(新任)

監 事—山村重雄、大谷剛(新任)

なお今年度窓口スタッフは以下の通りです。よろしくお願いいたします。

秋元真希、金屋卓志、猿木弘一、杉本ひろみ、鈴木聡子、高島雅子、田上薫、轟みどり、蜂谷晴彦、藤川千容、堀和彦、森田英雄、宮崎明子、ミョウブン、村田典政、山口弘子、山田義信

●会員募集中

当会のサポーターになりませんか！

正 会 員：ボランティア活動を通じ当会を積極的に
サポートして頂ける方。(年会費 1,000円、
総会に出席し議決権があります)

賛助会員：ボランティアに関心があり活動も可能だが、
毎回は来られないので…という方。
(年会費無料、総会での議決権はありません)

●ボランティアをはじめませんか!!

「子供の勉強会」の指導員、「外国人母親交流会」や、「ハローギャザリング」のお手伝いをして頂ける方大歓迎。
定期的な企画に参加して頂くものから、お時間のある時に不定期でお手伝い頂くものまであります。
詳細は当会までお問い合わせください。

●メールマガジン

http://www.hodogaya-kokusai.com/mail_newsletter.htm

当会のイベント情報、語学講座ほかの募集要項等をタイムリーにお知らせしています。

配信登録は当会のホームページ、「メルマガ登録・解除」ページで。

※ご登録頂いたメールアドレスは、本メールマガジンをお送りする目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

ほうじん ほどがや こくさいこうりゅう かい
NPO法人 保土ヶ谷国際交流の会

[JR保土ヶ谷駅から徒歩10分]
[相鉄線天王町駅から徒歩2分]

〒240-0004 横浜市保土ヶ谷区岩間町1-7-15 岩間市民プラザ1F

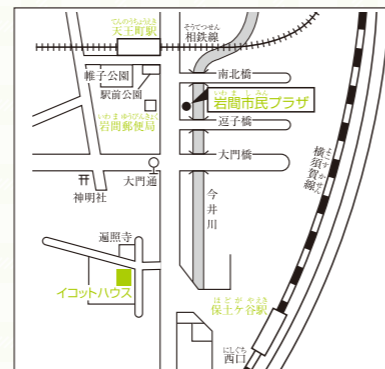
開館日：第2月曜日を除く毎日

10:00~18:00

電 話：045-337-0012 FAX：045-337-0013

URL：http://www.hodogaya-kokusai.com

E-mail：toiwase@hodogaya-kokusai.com



●日本語教室特集 ～日本語教室へいらっしやい～

木曜日、金曜日、土曜日の各教室のボランティアさんと学習者の皆さんに5月中旬インタビューで大いに語っていただきました。

学習者インタビュー

Q 日本語教室での経験が役立ったこと

- *日本語の使い方の間違いをスバリ指摘し、また使わないほうが良い言葉なども教えてくれます。それまでは他の人と話していても「文法が正しくないよ」、「違っていいよ」と注意されないの自分でも気がついていませんでした。どんどん自然な会話ができるようになってきていると感じています。
- *日本語がよくわかるようになって、ゲームの日本語がわかり楽しいです。
- *日本のテレビのドラマを見るのが楽しくなりました。また「ハロー」と挨拶するより「こんにちは」という方が日本の友人の反応が良くて会話が弾み友達も増えました。

Q 教えてもらって楽しかったこと、苦しかったこと

- *日本語教室に来た当初は、先生は英語がわからないし、私は日本語がわからなくて苦労しました。だんだん会話ができるようになって日本人の気持ちも何となくわかるようになりました。
- *日本語を話すのが上手くなっていくのがわかって楽しいです。また自国の友だちと会えるのが楽しいです。
- *日本の歌をうたってその歌詞から日本語を習ったことがありますが、楽しかったのでまたそんな授業があったらいいなと思います。
- *先生が優しく、わからなかったら何でもすぐ聞くことが出来ます。その場で聞かないとわからないと思います。

Q こうすればもっといいと思うこと

- *グループ間で喋るとレベルの差がありますので、出来ればもう少し少ない人数で習えればと思います。



ジェイン・モハットさん
(インド)



マギーさん
(台湾)

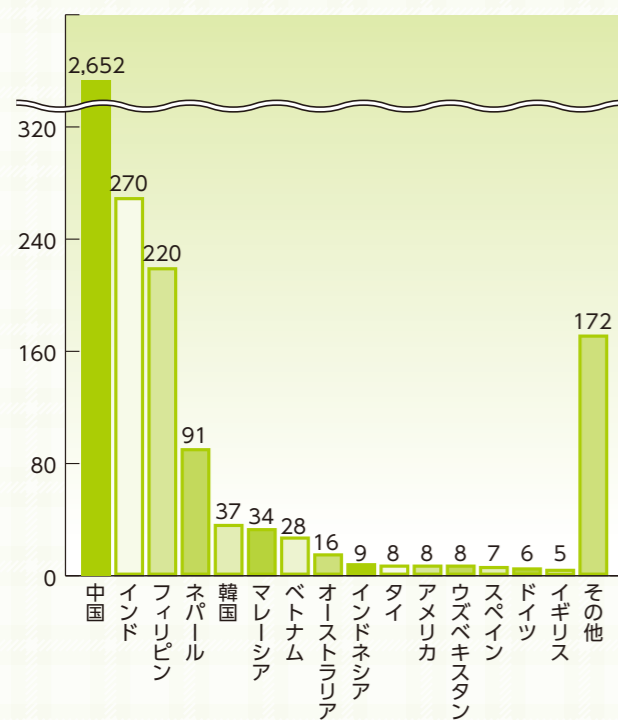


アルビンさん
(フィリピン)



于愛君さん
(中国)

平成22年度 教室参加外国人人数(延べ)



教室ボランティアの皆さん(敬称略)

- 木曜日：中村(寛)*、市川、今泉、浦川、木ノ内(俊)、久保田、佐々木、西堀、二宮、橋本、渡辺
- 金曜日：瀬田*、弥富、宇久田、岡本、城所、木ノ内(な)、柴田、鈴木、関、曾我部、千木良、堤、中澤、中村(忠)、西尾、細野、村田、山口
- 土曜日：高橋*、阿久沢、伊藤、泉、上原、宇久田、大谷、奥山、塩谷、首藤、中間、中村(哲)、橋本(純)、藤原、蓬菜、星野、山崎(*はリーダー)

なお、日本語教室では、日本語を教えてくださいボランティアさんを募集しています。詳細は当会HP、または当会までお問い合わせください。

教室開講日(無料)

- 木曜日 18:30～20:00
- 金曜日 10:30～12:00
- 土曜日 13:30～15:00

教室ボランティアインタビュー

Q ボランティアをはじめたきっかけは？

- *人にものを教えることが好きだったので仕事はそうではなかったのですが、老後は好きなことをやろうと。東南アジアへ行って日本語を教えたいと思ってました。
- *実は外国人と知り合いになりたいという思いがありました。

Q 嬉しかったこと、楽しかったこと

- *下のレベルからスタートした人が私たちと会話が出来ようになり、保土ヶ谷国際交流の会の「つどい」で発表出来るようになったりするとウルッとします。
- *ボランティア仲間が素晴らしい人たちなので続けられています。
- *今回の震災時、以前に教室に来ていた国内外に住む学習者から電話で「先生、早く逃げなさい」など心配や問合わせのお見舞いがあり大変うれしく思いました。
- *「日本語能力検定試験に受かったよ」と報告を受けたときはうれしかったです。
- *かつて“おひな様”のとき生徒さんを自宅へ招いたことがありましたが、その時先生方も来られてちょっとしたパーティになりました。今は学校形式になってしまいそのようには行かないでしょうが雰囲気は変わりましたね。昔は個人的な生活相談もありました。



土曜日 高橋さん



土曜日 首藤さん

「先生また来週ね」と言われるとうれしいです

Q 苦労したこと

- *どういう授業をしたらよいかを考えるのが一番の苦労ですね。学習者に合った授業、魅力ある授業を行うよう努めています。
- *実際に授業がつまらないと途中でさっさと帰ってしまう学習者もいますよ。ボランティア同志でもお互いに授業がひどかったりするとわかってしまいますからね。
- *やはりチャランポランにやったら、見透かされるし信用されないでしょ。一方通行はダメで、求めているものをちゃんとキャッチして与えてあげることが必要だと思います。
- *授業を受ける態度に文化の違いを感じることがあります。例えばアクビ???
- *教室に来たらすぐ「はいxxページ」とレッスンを始めるのではなく学習者の気持ちを和らげて授業を受けてもらう準備に新聞の話題などで学習のためになることやウンチクを授業前に話しています。
- *一般的に勉強する訓練を受けている人とそうでない人が混在しているのでホワイトボードに板書してもついて来れる人とそうでない人がいるのでどこに照準を合わせるかが難しいです。そこがまた面白いのですが。

Q 思い出に残る学習者たち

- *日本語を教えるのみにとどまらず学習者に対してそれ以外の関わりが出てきています。その例として数年前のことですが、学校にも行かず働きもしていない中南米から来た若い学習者が居たので「ぶらぶらしてないでちゃんと親に相談して学校に行くか職を探しなさい」と諭したところ、その後高校に入学し卒業後は専門学校に通っているとの報告を受けて嬉しく思いました。さらに、この若者がアジアから来た同じような境遇にいた学習者にアドバイスしてくれて現在私たちボランティアが交替でこの学習者に受験のための勉強を教えています。これが最近の一番のエピソードですね。

Q こうしてほしいこと

- *インターネットを見て来るのでビジネスマンが多くなっているのでは。右も左もわからない人を教えたいのですが彼らはおそらく口コミで来るのかなあ。区役所で住民登録をするときにここを紹介してもらおうといいのでは。
- *個人的意見ですが、ほかの曜日の先生方と年に何回か交流があってもいいかなと思います。
- *この教室以外にも日本語を教える団体がありますが、上のレベルの人達が来たとき紹介したいのですが情報交換など交流をしたいです。



木曜日 市川さん



金曜日 中澤さん



木曜日 中村さん



金曜日 細野さん